

第2回芥川作曲賞決まる

山田 泉氏の作品「<一つの素描>ピアノとオーケストラによるⅡ」に

「芥川作曲賞」の第2回受賞曲は、8月6日（木）午後6時より東京、サントリーホールでの演奏会形式による公開選考の結果、山田 泉氏の作曲による「<一つの素描>ピアノとオーケストラによるⅡ」に決定した。同氏には賞状とあわせて賞金50万円がおくられる。

芥川作曲賞は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念してサントリー音楽財団が一昨年春に創設したもの。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考するという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっている。

第1回芥川作曲賞は、高橋 裕氏の作曲による「Symphonic Karma（シンフォニック・カルマ）」に贈られている。

山田 泉（やまだ いずみ）

<受賞理由>

豊かな音楽的感性による作品で、ピアノとバイオリンのソロを効果的に用いながら、オーケストラの斬新な音色によって、新しい音楽のリリシズムの可能性を示した。

<略歴>

1952年7月10日東京都生まれ。東京芸術大学音楽部作曲科を経て、79年東京芸術大学大学院修了。石桁真礼生、松村禎三、間宮芳生、末吉保雄、丸田昭三の各氏に師事。74年「三人の会」創立20周年記念NET作曲コンクールにおいて、<レクイエムⅠ“地獄草紙”>が第一位。<レクイエムⅡ“天明癸卯年所々騒動留書”>が79年日本交響楽振興財団第1回作曲賞入選。主要作品に<チェロ協奏曲><一つの素描 ヴァイオリンとオーケストラによる><一つの素描 ピアノとオーケストラによる><素描 ヴァイオリン・ソロと弦楽三重奏による><素描 ピアノ・ソロによる>他。

第2回芥川作曲賞 選考経過

1. 1992年4月27日（月）午後1時より東京紀尾井町、ザ・フォーラムにおいて予備選考会を開催。1991年4月1日より1992年3月31日の間に国内外で初演された新進日本人作曲家の管弦楽作品53曲を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわし

い清新にして豊かな将来性を秘めた以下4作品を「第2回芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は武満徹、松村禎三、黛敏郎の3氏。(50音順)

- 山本 純ノ介作曲 迦楼羅～黎明の響～
KaRuRa Reimei no Hibiki
(初演：1991.12.26「京都市交響楽団第340回定期演奏会」)
- 夏田 昌和作曲 <モルフォジェネシス>～オーボエとオーケストラのための～
<MORPHOGENESIS>for Solo Oboe and Orchestra
(初演：1991.4.23「東京芸術大学新卒業生紹介演奏会」)
- 山田 泉作曲 <一つの素描>ピアノとオーケストラによるⅡ
<One Design>for Piano and OrchestraⅡ
(初演：1991.6.15「第17回民音現代作曲音楽際」)
- 新実 徳英作曲 オーケストラのための<ヘテロリズムクス>
<HETERORHYTHMIX>for Orchestra
(初演：1992.1.20「オーケストラ・プロジェクト'92」)
(演奏順)

2. 1992年8月6日(木)、午後6時よりサントリーホールにおいて上記4曲を公開演奏(指揮 小松一彦、東京交響楽団、オーボエ柴山 洋、ピアノ木村かをり、バイオリン篠崎功子)。演奏終了後、15分の休憩をはさんで、直ちにステージにおいて3選考委員による公開討議を行なった結果、第2回芥川作曲賞受賞曲に、山田 泉氏の作曲による「<一つの素描>ピアノとオーケストラによるⅡ」が選定された。

3. 公開選考終了後直ちに同ステージにおいて贈賞式が行なわれ、サントリー音楽財団理事長・佐治敬三より賞状、賞金(50万円)が授与された。

なお、山田 泉氏には、サントリー音楽財団より交響管弦楽曲が委嘱され、完成次第同財団主催のコンサートで初演される。(委嘱料100万円)

[ご参考]

「芥川作曲賞」について

1. 名称

「芥川作曲賞」

2. 選考対象

毎年、4月1日から翌年3月31日の間に国内外で初演された（放送を含む）新進日本人作曲家による交響管弦楽曲の中からもっとも清新かつ将来性に富む作品1曲を選定します。

3. 選考委員

芥川作曲賞運営委員会（サントリー音楽財団より4名、日本作曲家協議会より3名、計7名で構成）が数名の選考委員を委嘱します。（本年は、武満徹、松村禎三、黛敏郎の3氏。）

4. 賞

- （1）賞状、賞金50万円。
- （2）受賞作曲家に新しい交響管弦楽曲を委嘱します。委嘱料100万円。
- （3）委嘱作品は完成後、サントリー音楽財団の主催する公演で初演します。

5. 選考方法

- （1）第一次選考委員会において候補作品数曲を選出します。
- （2）公開演奏会形式で最終選考会を開きます。選考方法としては、まず候補作品数曲を一括演奏し、終了後その場で選考委員が公開討議を行ない、受賞作1作を選定、贈賞します。

6. 贈賞期間

1991年より2000年までの10年に10回の贈賞を行ないます。

以 上